

目黒労協

2019春季闘争ニュース

No. 19-02 2019年1月1日

発行: 目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://home.g01.itscom.net/union/>

[メール union@r05.itscom.net](mailto:union@r05.itscom.net)

『働き方改革』関連法の学習会開催 法律を理解して職場での闘いに活かそう！

12月13日、6月に国会で強行採決された『働き方改革推進法』について、残業上限の設定や高度プロフェッショナル制度の導入など、悪法の職場導入阻止についてはもちろん、労働時間に関する制度の見直しや、公正な(均等)待遇の確保など、労働組合が理解して積極的に活用できる制度について、旬報法律事務所の並木陽介弁護士を講師に、上目黒住区センターで学習会を行いました。主催は目黒労協と目黒区労連の共催で、参加者は18名でした。

幅広い組合から参加、というわけにはいきませんでした。地域に学習会を呼びかける中で、労協・区労連に未加盟の労組よりも参加があり、活発に質疑も行われました。



地域共同の取り組み

目黒社保協



11月26日の、目黒社会保障推進協議会の宣伝行動は、『保育・学童保育』の拡充を求める宣伝&署名行動を、学芸大学駅前で行いました。いつもの宣伝行動は、会員団体のおじさん&おばさんが主力ですが、この日ばかりは保育園の保育士さんたちもかけつけ、ハンドマイク宣伝も、保育士さんが訴えていただきました。身近な問題ということもあり、通りかかってくる人たちの反応も良く、署名もいつもより多くの方々にご協力をいただきました。また、保

育園帰りの親子からも、『先生、頑張っ！』との声もいただいていた。ぜひ、みんなの声で、保育の改善をはかっていきましょう！（目黒社保協/通信員）

わくわく平和パレード

『手をつなごう♡らしがだいじ』のスローガンで、12月2日の日曜日、『わくわく平和パレード at なかめぐろ』が、中目黒舟入場公園で集会と、菅刈公園までのパレードが行われ、230人の人たちが参加しました。主催は同パレード実行委員会で、目黒労協も団体で実行委員会に参加しましたが、主力は“オールめぐろ”に結集する人たちでした。これまでも地域で、いろいろな集会やパレードが行われていますが、さらに幅広い人たちとつながるよう、工夫をこらしたイベントとなっており、労働組合も学ぶところが多い取り組みでした。（目黒労協/参加者）



「9の日」合同宣伝



12月10日、学芸大学駅前にて『9の日』合同宣伝が行われ、20名を超える参加者で宣伝と署名の活動が行われました。『安倍9条改憲NO!/憲法を生かす全国統一署名』の取り組みは、目標の3千万筆達成まで全国でも取り組まれています。目黒でも『めぐろの会』を中心に、引き続き取り組んでいますので、みんなで頑張りましょう。

渋谷共同法律事務所



10月27日、『聞いておきたい相続・遺言のこと』と題した、相続入門セミナーが、土建目黒会館で行われました。このセミナーは、目黒労協・目黒医療生協・土建目黒支部と、渋谷共同法律事務所の共催で行われ、主催者を合わせ30名の参加者で、会場いっぱいとなりました。今回で2回目の同セミナーは、渋谷共同の『法律相談を身近で』との思いで始めたもので、定期的な開催を目標にしています。(目黒労協/事務局)

地域の団体の取り組み

目黒区職労定期大会

12月4日、目黒区職労の第81回定期大会が中目黒住区センターにて開催され、約70名の組合員代議員が参加しました。代議員から『育休代替の臨時職員の処遇が悪く、同じ仕事でも都職の代替と賃金でもかなりの差がある。代替が決まらない。』『国が打ち出している幼児教育・保育無償化では、給食費が実費となると、現在保育料が低い世帯では、逆に負担が多くなる』『欠員が続き、年休も取れない。時間外も申請しづらく、サービス残業になる。』など、発言がありました。それでも、マイナス勧告の実施見送りを勝ちとったことに確信を持ち、『団結頑張ろう』で閉会しました。(目黒区職労/通信員)



めぐろユニオン忘年会



12月15日(土)、めぐろユニオン・ユニオン友の会・事務所維持する会による、『合同忘年会』は八雲住区センターで行われ、16名が参加しました。

同会では、関係者の『ご長寿・年祝い』も企画されており、“還暦” “喜寿” “古希” など迎えた方たちに、大いに語っていただいています。今年のJMITU目黒地域支部の委員長は、自分の口では語らず、長年の趣味のギターを演奏。なかかな見事な腕前で、参加者から拍手喝采でした。(めぐろユニオン/通信員)